

区政を聞く 一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

葛飾区議会公明党

来年度予算の見直しと中小企業対策

来年度の予算編成の見直し

問 本区の来年度予算において、行政刷新会議による事業仕分けの影響はどのように見込まれるか。

答 見直しの評価結果が国の予算に反映された場合は、本区の予算編成にも大きな影響が生じる可能性が高い。国の予算編成の中で評価結果が本区の事業にどのような影響を及ぼすのか見極めていくことが重要と考える。

問 特別区民税や財調交付金の見直しを踏まえ、現時点における来年度の予算編成の見直しはどうか。

答 予算要求では200億円を超える歳出超過となっており、当初予算編成は、大変厳しい状況にある。こうした中、経営改革の取り組みを進めるとともに、基金などの財政対応能力を最大限に活用し、区民が安心して生活できる施策の展開を図るようとする。

※他の質問項目 今年度の特別区民税や財調交付金の見直し など

予防接種など新型インフルエンザの対応

問 新型インフルエンザのワクチン接種が受けられないという医療現場の混乱をどのように考えているか。

答 区は国や都の方針に従いワクチン接種を行うが、現段階では接種希望者に対し、ワクチンの生産量が十分ではない状況にある。今後、生産量の増加や輸入により供給が安定していけば、混乱は収まっていくと考える。

※他の質問項目 備蓄品の活用

中小企業対策

問 区長はこれまでの中小企業対策について、どのような成果があったと認識しているのか。

答 不況対策として緊急資金融資により資金調達を支援したほか、区内製造業の競争力を高めるため助成制度を

実施し、効果があった。また、観光振興に力を入れた結果、来訪者が増加し、観光振興と商店街施策との連携により成果を収めた。

問 本区の実施している施策の問題点や課題をどのように捉えているか。

答 区内事業者の発注元の多様化などのため、販路拡大の支援を広げていく必要がある。また、東京スカイツリーの開業による人の流れを視野に入れた地域の活性化をめざすことが商業振興にとって重要となる。

※他の質問項目 年末・年度末に向けた効果的な対策

ユニバーサル社会の実現を理念とした新小岩地区のまちづくり

新小岩地区のまちづくり

問 新小岩駅周辺地区を交通バリアフリー基本構想の重点整備地区に指定し、新小岩の街からユニバーサル社会の実現を目指すかと思うが、どうか。

答 これまで懸案であった南北自由通路の整備に向けた協議がJR東日本などほぼ合意に達している。できる限り早い段階で、新小岩駅圏域を重点整備地区に指定し、関係機関と連携した一体的なユニバーサルデザイン化を優先的に進めていきたい。



新小岩東北自転車駐車場

問 新小岩地区をモデル地区として、ユニバーサル社会の実現を理念とした新小岩地区まちづくり構想などを個別の街づくり事業の上位計画として策定していくべきかと思うが、どうか。

答 都市計画マスタープランでは、新小岩駅周辺地区を広域生活拠点に位置

づけ、利便性向上などに努めてきた。今後、見直しを進めている都市計画マスタープランの全体構想や地域別構想の中で、ユニバーサルデザインの視点を立ったまちづくりという考え方を位置づけていく。

※他の質問項目 ユニバーサル社会の実現に向けた人材育成 など

区役所でのユニバーサル社会の実現

問 福祉総合案内サービスやコールセンターの開設にあたり「おもてなしの心」に基づいたサービスを提供していくべきかと思うが、どうか。

答 窓口を運用する側に「おもてなしの心」が備わっていないければ、利用者が満足できる窓口はできないと認識している。今後、総合窓口の設置にあたり、心のユニバーサルデザインを感じられるプラスワンのサービスができる体制づくり、人づくりに努めていく。

※他の質問項目 「おもてなしの心」を基本とした職員の意識改革 など

食育推進計画の見直し

問 栄養教諭を中心とした食育ネットワークを構築するため、地域との連携が求められるかと思うが、どうか。

答 栄養教諭が中心となり、食育の実践の場である地域や家庭とも連携して区民に食育を広げていくことは大きな意義がある。今後、地域や家庭への食育啓発活動を行い、食育ネットワークの構築に向けて前進させる。

※他の質問項目 食育サポーター制度の区内全域への拡大 など

自由民主党議員団

自由民主党議員団

問 来年度予算に、区民に真に必要な子育て支援施策や経済雇用対策などの事業を盛り込めるのか。また、本区では平成13年度から財源不足を生じさせることなく、予算編成をし

てきたが、厳しい財政状況からすると9年ぶりの財政調整基金の取り崩しなど、昨年度以上の財源対策が必要と考えるが、どのような対策を行うか。

答 非常に厳しい財政環境下であるが、子育て支援策をはじめとする中期実施計画事業や、経済雇用対策などを着実に進める予算編成を目指している。また、区民に真に必要なサービスに重点的に財源を投入する中で、財政調整基金の取り崩しをせず、予算編成ができるよう最大限の努力を傾けている。

※他の質問項目 財調交付金の減収 など

ハローワークが行うワンストップ・サービス・デイという取り組み

問 生活保護世帯が増えていると聞か、現在の傾向と生活保護費の急増についてどのように考えているのか。

答 生活保護受給世帯全体の増加数は、20年秋ごろを境に急増する傾向を見せ、20年度は年間48世帯、21年度は10月末までに48世帯の増となっている。一昨年のリーマンショック以後の景気動向およびそれにもなる雇用情勢の悪化を背景としたものと考えている。

※他の質問項目 ワンストップ・サービス・デイの実情 など

新型インフルエンザに対する区の対応

問 新型インフルエンザワクチンの接種の状況について伺う。

答 必要な医療を確保するという観点から、患者の治療に直接当たる医療従事者に10月末より接種を開始した。また、重症化防止の目的で、基礎疾患をお持ちの方、妊婦の方、1歳から就学前の幼児に対しては11月から開始し、小学校1年生から3年生には、平成21年12月5日から開始を予定している。

問 いつ起こるかもしれない強毒化に変異した新型インフルエンザの流行に備え、当面の事業継続計画策定の進

行状況と、今後どのように策定していくのか伺う。



新型インフルエンザワクチン

答 強毒化、大流行化、長期化したときに備え、区民に欠かせない行政サービスを継続することが必要のため、事業継続の主な考え方をまとめた新型インフルエンザが強毒化したときの事業継続に関する当面の整理を、9月に危機管理対策特別委員会へ報告した。今後、大流行等で職員の欠勤が増えた場合でも、区民にとって不可欠な事業を継続するため、各事業の優先度や応援体制を検討していく。

※他の質問項目 医療関係機関との連携

がん対策の推進

問 がん予防に関する施策についての考え方を伺う。

答 がん細胞を作る最大の原因は、たばこであると言われている。本区では区立施設の禁煙・分煙を進め、区内飲食店の禁煙・分煙の取り組みを支援している。また、食生活の工夫でもがんの発生を抑制できるとされているので、区民の健康を増進するための施策展開を積極的に図っていく。

※他の質問項目 がん検診の受診率向上策 など

葛飾区フィットネスパーク基本計画

問 フィットネスパークは、体育館と公園の一体整備を活かした本区が誇れる新しいスポーツ施設として、今までにない優れた特色・機能を付加す

べきかと思うがどうか。

答 奥戸の総合スポーツセンターと肩を並べる、葛飾北部のスポーツの二大拠点として位置づけ、建築面積約5千㎡の体育館・温水プールをはじめ、少年野球やサッカーができる屋外運動施設など、公園全体が一体的に機能し、区民の方々のスポーツや健康づくりをサポートする公園として整備することとしている。

※他の質問項目 財政計画についての考え

葛飾区民会議

行財政運営

問 街づくり関連事業や福祉事業などは、借金や国等の財源を見込んで事業化されている。予想される補助金の廃止や地方への財政負担の要求拡大等の環境変化にどう対応していくのか。

答 国の事業仕分けなどが、本区の財政運営に及ぼす影響を見通すことは、現時点では難しい状況であるが、どのような財政状況でも区民の信任に応えられるよう、経営改革の取り組みを着実に推し進めて、安定的に財政運営を図っていく。

問 借金を減らしながら貯金を増やすことと財政対応基盤を整えている努力は認めるが、基金からの借入れが約52億円あり、苦しいやりくりをどう説明していくのか。

答 借入金利子を借入元の教育施設整備積立基金に積み立てることで資産に転じ、しかも一般会計からみても起債の際に発生するような手数料や割引料もかからないというように、経費の節減や基金の確実かつ有利な運用方法の一つとして実施している。

※他の質問項目 今後の財政運営 など

行政改革

問 行政の透明性を拡大することによ

区政を聞く 一般質問(要旨)

詳しい内容は、会議録(2月中旬発行予定)をご覧ください。会議録は、区議会公式サイトや区政情報コーナー(区役所3階)、図書館などでご覧になれます。

て、区と区民が共通認識の上で問題解決に当たるべきと考えるがいかか。

答 区役所改革に向けた取り組みとして行政評価制度全体の見直しを進めている。区民に理解しやすい仕組みづくりを進めることにより、行政の抱える問題点を職員と区民との間で共有できると考える。

※他の質問項目 地方財政健全化法への対応 など

鉄道の整備と運賃

正規職員および非正規職員(再任用を含む)数

問 過去5年間の職員数を各部ごとに公表し削減など区の方針を伺いたい。答 常勤職員数は公表しているが、専門非常勤は、雇用期間などが多種多様であり、比較評価は難しい。今後も各事業の意義や執行体制等を精査し、職員数の適正化を進めていく。

※他の質問項目 給与支給総額

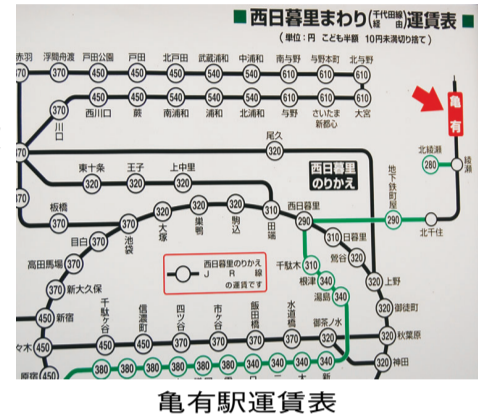
千代田線の金町駅までの延伸とJRR線の増便

問 綾瀬駅止まりを減らすため、千代田線の金町駅までの延伸や増便などについて区の方針を伺いたい。答 新宿六丁目地区の開発などにより、乗降客数の増加が見込まれることから、JR東日本などに対し金町駅の利便性が図れるよう要請していく。

※他の質問項目 要望書の回答

JRR線の西日暮里駅経由の割高運賃や二重運賃など

問 金町駅・亀有駅の割高運賃、ICカードでの二重運賃(亀有〜上野間切符320円ICカード340円)が具体的に知らされていない。考えを伺う。答 JRRとメトロの取り決めで西日暮里経由の連絡切符が買える範囲が規定されている。また、二つの運賃は、インターネット料金検索などでも表示され、利用者が選択できるものになってきている。



※他の質問項目 意見書の対応 など

新金貨物線の旅客化

問 新金貨物線(新小岩-金町)の区役所はどのように進んでいるのか。答 事業採算性などさまざまな理由から長期構想路線としている。現在は、高齢者にもやさしいバス路線の充実に向け、周辺環境の整備などを含め、取り組んでいる状況である。

※他の質問項目 新金貨物線より地下鉄8号・11号を進める理由 など

日本共産党葛飾区議会議員団

区民の暮らしを守る緊急支援策と命を守る区の方針を求め

公職選挙法の改正

問 今定例会で、新区長に質問することが自然と思うが、新区長が選出されるたびに同じ問題が発生する。この状態をどのように認識しているのか。答 法律により定められた任期を最後まで務めることは、公職を担う者としての当然の責務であり、選任していただいた区民に対する区長としての義務であると考えている。

※他の質問項目 区長の任期に対する見解

年末年始の緊急対策

問 融資の改善として、融資利率の引き下げを実施すべきと思うがどうか。答 利子の本人負担を引き下げると緊急対応を継続し、信用保証料も30万円を限度に助成しており、当面利

子の引き下げは考えていない。問 緊急対策と最終的なセーフティネットとしての生活保護を適用しているが、緊急窓口を土日と年末年始に設けるべきと思うがどうか。答 医療サービスを至急に必要とするなど、生活保護の緊急な対応は現在も実行している。土日と年末年始の窓口は必要ないと考えている。

問 医療機関に対して、無料低額診療の届け出を行うよう働きかけるべきと思うがどうか。答 医療機関などから事業開始届け出についての相談があった場合には、必要な支援を行いたいと考えている。

問 緊急窓口を土日と年末年始に設けるべきと思うがどうか。答 医療サービスを至急に必要とするなど、生活保護の緊急な対応は現在も実行している。土日と年末年始の窓口は必要ないと考えている。



融資相談窓口

※他の質問項目 生業資金融資 など

今後の区政運営

問 補正予算案に東京理科大学の科学技術センター基本設計等委託費が計上されているが、議会で議論をしないまま大学固有の建築物を設置するのは、撤廃すべきと思うがどうか。答 区議会から科学教育支援施設などを併設できないかとの要望がなされ、理科教育の充実を図っていくとの観点から、補正予算に計上したものである。これまでの検討結果を所管委員会に報告し、意見などをいただき基本設計や実施設計に反映させたい。

問 慈恵医大青戸病院のガン放射線治療病棟側から正式に撤退の回答が来たことだが、存続を願う区民の意向は変わらない。再度、要望すべきと思うがどうか。

答 今後は、要望していた小児医療・救急医療などの充実、生活習慣病に対する対応、病診連携の強化、各種健診事業の推進などについて、葛飾区医師会等の関係機関を含めた協議体の設置について協議を進め、地域における医療の中核機能がより充実されるよう努めていくべきと考える。

民主党 葛飾

地域主権と地方分権改革

問 民主党のマニフェスト5原則の1つである「中央集権から地域主権へ」について、本区の評価を伺う。答 「地域主権」の考え方には、未だ改革全体の概念、方向性や工程表が具体的に示されていないのが現状であり、当面はその動向を注視していく。現時点では、これまで以上に自治体の自主性を高める権限や財源の移譲が実現されていくと期待している。

問 骨太の方針で示された三位一体改革について、本区の方針を伺う。答 地方の担う事務と責任に見合った地方財源の充実確保などの観点から、地方財政全体の抜本的改革を進めることにより、分権型社会にふさわしい地方の財政基盤を早急に確立する必要があると考える。

問 本区と区の方針を伺う。答 本区は、どの程度の権限移譲を主張し、また、都と区で役割分担をしていくのか、考えを伺う。

問 本区として対応できる事務はできるだけ区に移管しよう主張しているが、現時点では、区への移管は53項目、都に残す事務は122項目などと整理されている。

問 本区として対応できる事務はできるだけ区に移管しよう主張しているが、現時点では、区への移管は53項目、都に残す事務は122項目などと整理されている。

問 本区として対応できる事務はできるだけ区に移管しよう主張しているが、現時点では、区への移管は53項目、都に残す事務は122項目などと整理されている。

問 本区として対応できる事務はできるだけ区に移管しよう主張しているが、現時点では、区への移管は53項目、都に残す事務は122項目などと整理されている。

問 本区として対応できる事務はできるだけ区に移管しよう主張しているが、現時点では、区への移管は53項目、都に残す事務は122項目などと整理されている。

問 本区として対応できる事務はできるだけ区に移管しよう主張しているが、現時点では、区への移管は53項目、都に残す事務は122項目などと整理されている。

問 本区として対応できる事務はできるだけ区に移管しよう主張しているが、現時点では、区への移管は53項目、都に残す事務は122項目などと整理されている。

問 本区として対応できる事務はできるだけ区に移管しよう主張しているが、現時点では、区への移管は53項目、都に残す事務は122項目などと整理されている。

問 本区として対応できる事務はできるだけ区に移管しよう主張しているが、現時点では、区への移管は53項目、都に残す事務は122項目などと整理されている。

問 本区として対応できる事務はできるだけ区に移管しよう主張しているが、現時点では、区への移管は53項目、都に残す事務は122項目などと整理されている。

問 特別支援教育について見解を伺う。答 児童・生徒に個別指導を行う巡回指導員など高い評価を受けている。今後も一人ひとりの教育ニーズに応じた支援などの課題に取り組む。



立石中学校

※他の質問項目 窓口を一元化した発達障害支援体制の整備 など

理科離れ対策

問 理科離れについて本区の見解を伺う。答 科学技術センターや東京理科大学との連携など理科教育の充実を図る。

※他の質問項目 東京理科大学とわくわくチャレンジ広場事業の連携

学校図書館

問 学校図書館は、教科に合わせて指導室が中心となって運営する必要があると思うが、どうか。答 多様な学習活動を支援する学習情報センターとしての役割を担うため、今後も整備・充実に取り組む。

※他の質問項目 一元管理 など

問 今後の介護予防と高齢者施策の展望

問 事業仕分けによる介護予防事業の予算削減に伴う高齢者施策について伺う。答 今後の国の動向に注目しながら、創意工夫を凝らし事業を推進する。

問 今後の国の動向に注目しながら、創意工夫を凝らし事業を推進する。

問 今後の国の動向に注目しながら、創意工夫を凝らし事業を推進する。

問 今後の国の動向に注目しながら、創意工夫を凝らし事業を推進する。

問 今後の国の動向に注目しながら、創意工夫を凝らし事業を推進する。

問 この事業のこれからの方向性を伺う。また区内の他地域にも広げていくべきと思うが見解を伺う。答 今後3年間さまざまな取り組みの結果と効果を検証した上で、他地域にも広げていきたい。



ふれあいサロン

※他の質問項目 PRの課題 など

金町駅北口のまちづくり

問 区民が抱える不安を払しょくするためにどんなことを行っているのか。答 街づくりを進めるための意見交換などを行っている。今後も議会をはじめ、地域の方々とも勉強会、意見交換会などの場を積極的に設ける。

問 区民が抱える不安を払しょくするためにどんなことを行っているのか。答 街づくりを進めるための意見交換などを行っている。今後も議会をはじめ、地域の方々とも勉強会、意見交換会などの場を積極的に設ける。

新宿六丁目のまちづくり

問 新宿六丁目公園でのテニスコートなど運動施設の設置は、近隣住民への配慮が必要と考える。またフィットネスパーク計画との関連を伺う。答 利用者の利便性と近隣住民の意見を十分配慮する。計画は互いに密接に情報交換を行い、調整を図っている。

※他の質問項目 土壌改良工事

問 今後の国の動向に注目しながら、創意工夫を凝らし事業を推進する。

問 今後の国の動向に注目しながら、創意工夫を凝らし事業を推進する。

問 今後の国の動向に注目しながら、創意工夫を凝らし事業を推進する。

問 今後の国の動向に注目しながら、創意工夫を凝らし事業を推進する。

問 今後の国の動向に注目しながら、創意工夫を凝らし事業を推進する。

問 今後の国の動向に注目しながら、創意工夫を凝らし事業を推進する。